



漢方の保険診療 を守ろう！

漢方薬が保険診療で使用できなくなると…

■ 身体的・経済的負担の増加

がんや手術、さまざまな病気におけるサポートケア（副作用の軽減や体力の回復）が行えず、治療での身体の負担が大きくなります。そのために入院期間が長くなるなど、医療費負担が増加します。

■ 健康被害の増加

不適切な使用が広がり、副作用による健康被害を招く恐れがあります。

■ こども・妊婦さんへの影響

漢方薬はお子様や妊婦さんの治療・健康に欠かせませんが、それが使えなくなります。

宣言

- ・ 日本の医療において外来から入院まで幅広く活用されている漢方薬が保険診療で継続的に使用されるよう活動します。
- ・ 国民の皆様の健康維持ならびに社会活動、経済活動にさらなる貢献ができるよう、漢方医学の教育、研究、診療のレベルアップに努めてまいります。

皆様の貴重なご意見をぜひお聞かせください →



日本東洋医学会・日本臨床漢方医会

2025年3月31日